授業科目	英語教科教育法Ⅲ					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	選択	開講年次	3	開講時期	後期
担当教員	西原　真弓						
授業概要	英語教科教育法Ⅰ・Ⅱで学んだ知識・理論の実践的展開を、中学校・高等学校の模擬授業に応用しながら理解を深めていきます。授業展開の方法や指導案の書き方、４技能を効果的に活用した指導技術を磨くことを目的としています。さらに、他の受講生の模擬授業を客観的に評価する視点を身につけるため、相互にコメントを出し合いながら、分析・評価する視点や方法、また、改善の方法などを受講者間でディスカッションしながら協同的に学んでいきます。						
授業形態	演習			授業方法	反転授業、ディスカッション、模擬授業		

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	1. 授業展開に則した学習指導案を作成することができる。 2. 学習指導案に即した授業を行うことができる。 3. 効果的な配布資料を作成することができる。 4. 電子黒板やパソコン等の IT 機器を効果的に活用して授業を行うことができる。 5. 英語教師への志と資質を高めることができる。
理想的レベル	1. 授業展開に則した学習指導案を自分なりの工夫を加えて作成することができる。 2. 学習指導案に即した学習目標を到達するために効果的な授業を行うことができる。 3. 学習目標を到達するために効果的な配布資料を作成することができる。 4. 電子黒板やパソコン等の IT 機器を効果的に活用してわかりやすい授業を行うことができる。 5. 英語教師への志と資質を主体的に高めることができる。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験		
小テスト		
レポート	40%	模擬授業を通して学んだことをレポートにする
発表（口頭、プレゼンテーション）	40%	模擬授業を評価する
レポート外の提出物		
その他	20%	クラスメートの模擬授業への建設的なコメントとディスカッションへの貢献度を評価する

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	-	DP2	-	DP3	-	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	EN34111J

学習課題（予習・復習）	１回の学習目安（時間）
教材精査 学習指導案を作成する。 模擬授業の流れや活動を調べ自分の模擬授業を作る。 教育に関連する記事を読む。	4

授業計画	
第１回	１　英語教科教育法Ⅲの授業ガイダンス 授業概要を説明し、達成目標、評価内容や方法について説明する。 授業を組み立てるために必要な教材精査
第２回	２　授業の展開および学習指導案の作成方法 担当範囲の授業計画・学習指導案・配布資料の作成 目標設定と授業の展開の仕方について考える。
第３回	３　授業観察の視点、示範授業① 授業の展開方法に着目し示範授業を見て気づきを共有する。
第４回	４　授業観察の視点、示範授業② 思考・判断・表現させる活動について示範授業を見て気づきを共有する。
第５回	５　模擬授業① 小中連携を意識した中学校１年次入門期の授業　（授業評価と講評、本講義のまとめ）
第６回	６　模擬授業② 文法指導を中心とした授業の組み立て方　（授業評価と講評、本講義のまとめ）
第７回	７　模擬授業③ 中学校教科書本文を使った本文理解の授業の組み立て方　（授業評価と講評、本講義のまとめ）
第８回	８　模擬授業④ 本文理解から発信につなげる授業の組み立て方（授業評価と講評、本講義のまとめ）
第９回	９　模擬授業⑤ 生徒の知的好奇心を掻き立てる導入について考える。（授業評価と講評、本講義のまとめ）
第10回	１０　中間振り返り 模擬授業の気づきを共有する。 「言語活動」についてディスカッションする。
第11回	１１　模擬授業⑥ 「話すこと（発表）」と「話すこと（やり取り）」に焦点をあてた授業（授業評価と講評、本講義のまとめ）
第12回	１２　模擬授業⑦ 「聞くこと」の活動を中心にした授業（授業評価と講評、本講義のまとめ） 聞いたものをどのように発展させるか。
第13回	１３　模擬授業⑧ 高等学校「英語コミュニケーション」の授業の組み立て方（授業評価と講評、本講義のまとめ）
第14回	１４　模擬授業⑨ 高等学校「論理・表現」の授業の組み立て方（授業評価と講評、本講義のまとめ）
第15回	１５　授業展開・指導方法・学習指導案等、全般に関する振り返り／総括
テキスト	New Horizon English Course 2（東京書籍） 文部科学省『中学校学習指導要領解説　外国語編』（2017） 文部科学省『高等学校学習指導要領解説　外国語編』（2018）
参考図書・教材	・金森憲他『英語授業ハンドブック・中学校編』大修館書店（2013） ・金森憲他『英語授業ハンドブック・高校編』大修館書店（2013）

／データベース・雑誌等の紹介	・望月昭彦・磐崎弘貞・卯城祐司・久保田章（著）『新学習指導要領にもとづく英語科教育法 第３版』 大修館書店（2018） その他、適宜授業中に紹介する。
課題に対するフィードバックの方法	レポートは点数とコメントをつけて後日返却する。 模擬授業は終了後に口頭でコメントをする。 他者の模擬授業へのコメントや授業内ディスカッションへの貢献に関しては授業内でコメントする。
学生へのメッセージ・コメント	1. 毎回、次時の模擬授業の範囲を全員予習してくること。 2. 模擬授業は基本的に英語で行う。そのために英語力強化を目指し、継続的に英単語力・英文法力・構文力を身につけるように努めること。 3. 英語教育に関する新聞記事や時事問題には日頃から敏感になり、情報収集に努めること。 4. 英語教師としての資質を磨き高めるため、日頃から自己研鑽に努め、ボランティア活動や英語指導には積極的に参加すること。